

平成 2 6 年度

## 【1】

題名	おとうさんのしごと
本人氏名	大木 志穂（おおぎ しほ）
性別	女
年齢	8
候補者との続柄	子
<p>わたしの おとうさんは、どうろをつくる おしごとを しています。わたしは、おとうさんが、おしごとを するところを みにいったことが あります。かんばんが おいてあって、そこをみると、おとうさんの なまえが かいてあったので、すごいと おもいました。わたしは、おとうさんに どうろの つくりかたを おしえてもらいたいと おもいました。</p> <p>あついなつは、いっぱい あせをかいて、さむいふゆは ぶるぶる ふるえながら、おしごとを がんばって、みんなのために はたらいているので すごいと おもいました。</p> <p>わたしは、がんばりやの おとうさんが だいすきです。</p> <p>おとうさんが がんばってつくった どうろを、みんなに、だいじに つかってもらいたいです。</p> <p>おとうさん、これからも がんばって きれいなどうろを つくって下さい。</p>	

## 【2】

題名	パパへ
本人氏名	篠塚 蒼（しのづか あおい）
性別	女
年齢	7
候補者との続柄	子
<p>パパは、私がまだ寝ている暗い夜に仕事に行って、私がお風呂に入ってご飯を食べて、ママに「もう寝なさい！」と言われている時に帰ってきます。</p> <p>何でお仕事がんばるの？とパパに聞いたら「みんなでディズニーランドに行くためだよ」とパパは言いました。</p> <p>パパが前よりもっともっとだいすきになりました。</p> <p>私も小学生になったので、勉強を全部がんばろうと思います。</p> <p>パパはお仕事が大変な日でも、トレーニングをしています。疲れているのに大丈夫なのかなと心配になってしまいます。</p> <p>体に気をつけて、またディズニーランドに行こうね！</p> <p>パパ だいすき お仕事がんばってね！</p>	

## 【3】

題名	ありがとう おとうさん
本人氏名	政木 冬華 (まさき ふゆか)
性別	女
年齢	9
候補者との続柄	子
<p>わたしの、おとうさんは すごいです。いっぱい いえをつくり、みんなに ありがとうと いわれます。わたしもありがとう。</p> <p>わたしの、おとうさんは すごいです。いっぱい しごとをして、とおいいところへも がんばっています。ありがとう。</p> <p>わたしの、おとうさんは すごいです。わたしのいえも おとうさんがつくりました。きには せんがあったり、まるの もようが あったり、きれいないろを しています。わたしのへやが いちばんすきです。ありがとう。</p> <p>わたしの、おとうさん すごいです。さむいひも がんばっています。あついひも がんばっています。ありがとう。</p> <p>おとうさん、いっぱい いっぱい、ありがとう。</p>	

## 【4】

題名	私のお父さん
本人氏名	大竹 彩加（おおたけ あやか）
性別	女
年齢	10
候補者との続柄	子
<p>私のお父さんの仕事は、一度見せてもらったことがあります。大きな機械の運転手をしています。地しんとかで、建物がこわれないように地面の中に大きな機械で柱を作っています。土の中の仕事なので見た目には分かりません。空港や道路・病院などができる前の仕事です。お父さんの仕事は、とてもむずかしいと思います。でも、すごくカッコいい仕事です。いろいろな場所に行って仕事をしているので、あまり家にいないので、とてもさみしいです。だから、旅行も行けず、ディズニーランドに行きたいのですが、まだ行けません。お父さんの方のおじいちゃんおばあちゃんは、大分県なので、たまにあそびに行きたいのですが、お父さんは仕事でなかなか帰って来ないので行けません。お父さんは仕事なのでしょうがないです。家でのお父さんは、やさしくてお風呂を一緒に入ってくれたりあそんでくれたり、買い物に行ったり、食べに行ったりします。よく行くのは、海に魚つりに行きます。家族4人で、お父さんの車で福井県の小浜へ行きます。いろいろな魚がつれて楽しいです。帰りには、小浜でお風呂に入って、ご飯を食べて帰ります。つりの用意やかたづけは、いつもお父さんがしてくれます。つりにあたら、お母さんは、つりにむちゅうなので、私と遊んでくれないので、お父さんが、私と遊んでくれます。家でゆっくりする時は、私はいつもお父さんにくっついてねころんでいます。お父さんが帰って来ると、ネコのチョコも喜んでくっついてねてます。この間私の部屋が散らかっていたので、かたづけてくれて、かわいい部屋になってました。とてもうれしかったです。お正月の休みの日には、お母さんのたん生日プレゼントに、お父さんと私で、お母さんの好きなワンピースの船のプラモデルを2つ作りました。とってもむずかしくて夜までつづきました。今度は、お母さんのお手伝いをお父さんと二人でしたり、お母さんのおたん生日会をお父さんと考えてやりたいです。私がお父さんにしてあげたいことは、おたん生日会をしてあげたいし、プレゼントも作りたいです。でも、お父さんのイヤなところもあります。それは、ヒゲをそってくれないことです。私は、ヒゲをそったお父さんが好きです。それから、イビキがとってもうるさいです。ねれません。なおしてほしいです。どうしてもなおらなかつたら、おしおきをしたいです。イビキをなおして、私と一緒にねてほしいです。でも、私は、ねぞうが悪いので、お父さんをけってしまいましたが、がまんしてください。それに、お父さんと一緒にいる時間が少なく、お父さんに甘えてしまいましたが、これもがまんしてください。お父さん、大好きです。お仕事たいへんだらうけど、がんばってください。</p>	

## 【5】

題名	仕事をしているおじいちゃんを見て
本人氏名	坂口 梨乃（さかぐち りの）
性別	女
年齢	10
候補者との続柄	孫

先日、用事があったのでお母さんといっしょに富山駅に行きました。そしたら富山駅をこわしている人たちがいました。こわしている様子を見てみると、その人たちの中に私のおじいちゃんがありました。おじいちゃんがこういう仕事をしているということはお母さんから聞いて知っていましたが、実際に仕事をしているところを見たのは初めてでした。とてもきけんそうな仕事だったのでびっくりしました。

これから古くなった富山駅をこわしてもっと大きくて新しくて便利な富山駅を作るそうです。よりよい町や建物を作るためにがんばっているんだなぁと思いました。大きな車や機械を動かしているおじいちゃんがとてもかっこ良く見えました。

これからも安全に気をつけて町などをよりよくするためにがんばってほしいなぁと思います。

## 【6】

題名	お父さんのいい所
本人氏名	内藤 光理（ないとう ひかり）
性別	女
年齢	10
候補者との続柄	子
<p>お父さんはどんな仕事をしているのだろう。小さいころ、ときどき気になりました。友達のお父さんは、お店をやっていたり、歯医者さんだったりしました。私のお父さんは、何をしているのかな？お母さんに何回か聞いたこともあります。でも、よく分かりませんでした。私はそのころ、電話もかけたこともなかったし、インターネットも見たことがなかったからです。</p> <p>小学生になって、るす番が多くなったので、お母さんが子どもけいたいを持たせてくれました。好きなアニメのホームページを、家族で見たりしました。お父さんの仕事は、こういうことに関係があるらしいと、なんとなく思うようになりました。</p> <p>家を引っこした時に、電話の場所はお父さんしか動かせないから、とお母さんが言いました。工事の人をよばなくて大丈夫？とお母さんが聞くと、「よんだら自分の会社がくるんだからいっしょだよ」とお父さんがわらいました。さっさと作業をするお父さんはカッコいいと思いました。</p> <p>それから東北で大きな地しんがありました。お父さんはすぐに南三陸に行かなくてはいけないと言いました。テレビで見るとまだ余しんで何度もゆれているようでした。お母さんは心配なことをたくさん言いましたが、お父さんはだまって聞いていました。テレビにうつるひなん所では、たくさんの人が家族や親せきに連らくがしたいと言っていました。お父さんが出発した後、みんなの電話やメールが早くつながるといいね、きっとお父さんはがんばっているだろうね、とお母さんが言いました。私は、家族や友達に連らくがとれて喜んでいる人をテレビや新聞で見ると、うちのお父さんの仕事がみんなを喜ばせているんだと思えて、すごくうれしくなりました。</p> <p>一か月くらいで、お父さんは南三陸からもどってきました。仮設住宅や、地しんでこわれた町の様子を少し話してくれました。「大変なのに、みんな落ち着いて一生けん命ががんばっていて、すごくえらいなと思った。」と言っていました。</p> <p>お母さんは、お父さんが南三陸に行っている時に、「うちのお父さんが仕事の不満を言っているのを一度も聞いたことがない。今回も、私があれば心配事をならべたのに、大丈夫だよとしか言わなかった。そこがお父さんのいい所。」と言っていました。南三陸の人達に感心しているお父さんの話を聞きながら、私とお母さんも、お父さんってえらいなと思っているよと、いつか伝えたいと思っていました。</p> <p>この作文で伝えられてよかったです。</p>	

## 【7】

題名	ぼくのお父さん
本人氏名	平野 巧樹（ひらの よしき）
性別	男
年齢	10
候補者との続柄	子
<p>ぼくのお父さんは、毎日朝早くおしごとに、行ってしまうので、ぼくが朝起きると少しだけ会えます。いつもいそがしくお仕事をがんばっているので、ちょっとさみしいけれど休みの日にはたくさん遊んでくれます。</p> <p>休みの日に、お父さんが作った野球場やプール、客船ターミナルとかにつれていってくれます。その建物はすごく大きくて、かっこいいです。ぼくが「これお父さんが作ったの」と聞くと、きまって「ちがうよ、お父さんたちが作ったんだよ、大ぜいの人と力を合わせて、がんばって作りあげたんだよ」と言います。</p> <p>お父さんはすごい仕事をしている人だなあぼくも大きくなったらこんな仕事をしたいなあと思いました。</p>	



## 【8】

題名	オレンジつなぎのおじちゃん
本人氏名	田中 伊織 (たなか いおり)
性別	男
年齢	11
候補者との続柄	又甥
<p>僕のおじちゃんは、いつも道路でオレンジ色のつなぎを着て仕事をしています。</p> <p>冬の朝は僕が目がさめる前に除雪してくれるおかげで雪がきれいにかたづけられた道を友達と歩いて学校へ行けます。</p> <p>そして道路わきの草刈りをしてくれるのも道路のそうじやこわれた所をなおしてくれるのもおじちゃんだ。おじちゃんは一年を通して車が走りやすいように人が歩きやすいように頑張ってくれています。</p> <p>友達はこんなふうにおじちゃんたちが、頑張って道路や歩道をきれいにしている事を知りませんが、僕は知っています。</p> <p>学校帰りの道路ではたらいっているオレンジ色のつなぎの人を見かけるとみんなおじちゃんに見えてきて「おじちゃん」とよびたくなります。</p> <p>これからも僕たちのために頑張って下さい。</p>	

## 【9】

題名	父さん
本人氏名	政木 仁 (まさき じん)
性別	男
年齢	11
候補者との続柄	子
<p>ぼくの父さんは、大工で家を建てています。暑い日も寒い日も家族のために仕事をがんばってくれています。父さんの手は傷があったり、働きものの手です。</p> <p>今までいろいろな家を建ててきたと思うけど、ぼくが知っている家の中で、一番大変だったと思った家は、広島島の江田島というところに、毎週末に帰り、平日はとまりで、そこで家を建てるということをしていて、ぼくが見ていてもとても大変そうでした。その家の見学会を見に行った時、大変な中こんな家を建ててすごいいいと思いました。</p> <p>ぼくが、父さんのことで、一番すごいいいと思っていることは、木のことをたくさん知っていることと、いろんな大会に出ていつも上位をとっていることです。</p> <p>木について、家に木が使われていても、その使われた木はまだ生きつづけているんだよということや、家に使われている木の種類を知っているので、すごいいいと思いました。</p> <p>大会について、いつも大会の時は、おそくに帰ってきて家で勉強したり、休みの日には練習したりしているのですごく大変だなと思いました。そんな、大変な毎日を送って、そして上位をいつもとっているのですすがだなぁと思います。</p> <p>ぼくの家は、父さんが建てました。大きな柱やはりが見えてかっこいいです。夏は、床がひんやりして、その上でゴロゴロするのが気持ちいいです。</p> <p>ぼくがこの家で一番良いと思っている所は、木のもようや臭いです。なぜかというと、木のもようは、宇宙人の顔に見えたり人の顔に見えたりするのであきません。だから、木のもようは大好きです。臭いのどこが好きかというと、木の臭いは、とても落ち着く臭いがするからです。</p> <p>いろんなことを知っている父さん、いっしょうけん命に働いてくれる父さん、家を建ててくれた父さんは、ぼくのヒーローです。そんなヒーローに、ぼくは、大人になったら、なりたいです。最後に、体に気をつけて、いつまでも長生きしてほしいです。</p>	

## 【10】

題名	私のお父さん
本人氏名	駒田 絵理歌（こまだ えりか）
性別	女
年齢	12
候補者との続柄	子
<p>私のお父さんは、三河造園で造園業の仕事をしています。そんなお父さんは、朝の早い時間から、夜おそくまで働いて家に帰ってきます。</p> <p>ときどき、早く帰って来るとつかれているのに、弟の空手の練習に付き合ってくれたり、私の、一日の出来事など色々な話を聞いてくれます。</p> <p>休みの日には、家族で遊びに行く時、街路樹がキレイに植まっているか、周りに草は生えていないかなどを気にしながら、車を運転しています。また、台風などの大雨の日には、雨がたくさんふっていて、風も強い中、お父さんは、街路樹がたおれていないかを見に行きます。なので私は、そんな危険な中で働くお父さんの事が心配です。</p> <p>家のお庭は時々お父さんがキレイに手入れしてくれると、いつもその後はお花が並び、キレイなしばふのステキなお庭になります。</p> <p>私はいつもそんなふうに、お仕事に一生けん命で、私達家族のためにいろんな事をしてくれるお父さんに感謝します。これからも、お仕事をがんばりながら、私達ともいっぱい遊んでください。お父さんいつもありがとう。</p>	

## 【11】

題名	私から見たお父さんの仕事
本人氏名	中村 香乃（なかむら かの）
性別	女
年齢	12
候補者との続柄	子
<p>私のお父さんの仕事は、法面の仕事です。</p> <p>初めは、どんな仕事なのかわかりませんでした。けれど、海水浴に行った時、お父さんが作った現場を見ることが出来ました。「がけ崩れを防止するんだよ。」と、教えてもらいました。とても高くてよくあんな所まで登れるなあと感心しました。命がけなんだなあと思いました。落ちたりしないと聞いた時「ちゃんとルールを守れば大丈夫」と聞いて安心しました。また、寒い日や暑い日も外で仕事をしていて大変だと思います。毎日、仕事に行く時は、お母さんが「気をつけて。」と、声をかけています。</p> <p>以前、お父さんから「この仕事は好きだ。仕事の仕上がりは誰にも負けない。」と、聞いたことがあります。大変な仕事なので、ケガをしないように、毎日元気なお父さんでいてほしいです。</p>	

## 【12】

題名	世界一の建物
本人氏名	平野 未唯（ひらの みゆ）
性別	女
年齢	11
候補者との続柄	子
<p>私のお父さんは、建設現場で塗装の仕事をしています。お父さんは、家に帰ってきても仕事をしていて、いつも、いそがしそうです。それでも、休みの日は、私達といっばい遊んでくれます。</p> <p>でも、運動会などの、学校行事には、来てくれません。私は、「なんで来てくれないの。」と思いました。</p> <p>だけど、お父さんが仕事をしている建設現場に行ったときに思いました。最初にびっくりしたのは、建物の大きさです。すごく大きくて、「こんなに大きな建物をお父さんがぬっているんだ。」とびっくりしました。私が見に行った建設現場では、お父さんが現場で、なにをやっているかを説明していました。私は、建設現場を初めて見に行ったのですが、家では、お父さんの言っている事が分からないこともあるけれど、建設現場の説明のときは分かりやすく一つ一つ教えてくれたので、一つ一つが「そうなんだ。」と言う感じでよく分かりました。ペンキをぬることだけじゃなくて、こういう説明もしているなんて、お父さんも大変だなと思いました。</p> <p>私が学校行事に、「絶対に来て。」と言っていたら、その仕事を注文した人が困っちゃうし、いっしょに仕事をしている人にもめいわくが、かかっちゃいます。</p> <p>私が、「無理に来て。」と言ってしまった日のことを本当にごめんなさいとあやまりたいです。</p> <p>お父さんの仕事は、大変で、色々な人の力が合わさって、一つの建物を作っていることが分かりました。</p> <p>私のお父さんは、「自まんのお父さん」です。それは、一つの建物を作ったら、色んな人が笑顔になってくれるからです。そんな、お父さんをほこりに思いますし、私はそんなお父さんが大好きです。これからも、「自まんのお父さん」でいてほしいです。</p> <p>そんな、お父さんががんばって仕事ができるのはお母さんがいるからです。いつも、お父さんが帰ってきて、仕事がしやすいように、仕事の準備をしています。私もお手伝いしたいのですが、やれることが少ないので、お父さんの役に立ちません。</p> <p>でも、応えんは、できます。なので私もお母に負けないように応えんします。</p> <p>お父さんの仕事は、危なくて大変だけど、これからも、私の応えんでがんばってほしいです。</p> <p>お父さんが、ぬった建物は、どんな建物よりも大きくキレイですごいんだなあと思います。</p> <p>お父さんがぬった建物は、大好きで、世界一です。</p>	

## 【13】

題名	お父さんの仕事について誇りに思った事
本人氏名	本間 菜見 (ほんま なみ)
性別	女
年齢	12
候補者との続柄	子
<p>私が、お父さんの仕事について、誇りに思った事は、いつも私たちが目にしている看板や、ガードレールなどをお父さんたちが、作っている事です。</p> <p>いつも、私たちが目にしている看板や標式、もしその看板や標式が無かったとしたら、その道路で走る速度が分かんなくて、みんなすごいスピードを出して事故が起きたり、止まる所なのに、標式が無いから、これもまた事故に発展していきます。</p> <p>ですが、その看板や標式を、お父さんたちが作ってくれているので、おかげで事故が起こらなかつたり、自分が行きたい場所までのきよりが、分かることができます。</p> <p>このように、お父さんがやっている事は、生活している人たちが、安全に暮らしやすいようにしてくれているので、私は、お父さんがやっている仕事を、誇りに思いました。これからも、みんなが安全に暮らしやすいようにがんばってほしいです。</p>	

## 【14】

題名	働く僕のおじいちゃん
本人氏名	松田 恭輔（まつた きょうすけ）
性別	男
年齢	12
候補者との続柄	孫
<p>ぼくのおじいちゃんは、いろんな仕事をしています。聞いただけでも、大野ミニコンの社長とか大野消防の隊長など、いろんな事をしているのに、ぼくはじいちゃんがゆっくり休んでいる所を一度も見ることがありません。それでも、ぼくにいろいろ買ってくれたりしますが、やはりじいちゃんといると、ちゃんと、休んでいるのかな？ということばかり考えてしまい、毎日が冒険みたいです。</p> <p>それに大野ミニコンの社長といたってどんなことをするのかは、つい最近までは、全く分かりませんでした。じいちゃんは、タイヤショベルや超大型のトラックなどを何台も持っていて、どんだけ持ってんだ……と思う時もありますが、じいちゃんは熱心に教えてくれます。</p> <p>ついこの間もかぜを引いて、ねこんだと聞いた時は、おどろきました。でもじいちゃんは、それだけたくさん仕事をたくさんしていたという事だから、ぼくはとても尊敬しています。でも、やっぱりじいちゃんは休んだほうがいいと思います。そしてまた元気になったらけがをせずに、頑張っしてほしいです。</p>	

## 【15】

題名	僕からみたお父さん
本人氏名	松永 圭矢 (まつなが けいや)
性別	男
年齢	13
候補者との続柄	子
<p>僕のお父さんは、朝早く起きて夜7時過ぎに帰ってきます。肉体労働で、一日の半分以上が仕事という事は、とても大変な事だとも思います。家族のために毎日長く働いてくれて感謝しています。僕は野球を習っています。お父さんの仕事のイベントで野球教室に行ったのがきっかけで、野球を始めました。グローブを買ってくれたのも、バットを買ってくれたのも、お父さんです。家で「今日試合で打てなかった。」という、とてもくわしくアドバイスをしてくれます。</p> <p>僕はお父さんから、マナーや色んな事を教えてもらいました。小さい時から洗たく物の取り込み方など教えてもらったし、お父さんのおかげで友達の家に行ってもくつをそろえるだとか、あたりまえということができました。つかれていても、僕が困った事があると、解決策を考えてくれます。卒団記念にこれからも野球を続けてほしいとランニングウェアをプレゼントしてくれました。時には厳しく時には優しいだれにでも自慢できる、カッコいいお父さんです。</p>	



## 【16】

題名	よく働くお父さん
本人氏名	井上 皓斗 (いのうえ ひろと)
性別	男
年齢	11
候補者との続柄	子
<p>ぼくのお父さんは、平日は、朝早くから夜おそくまで仕事に行き、休日に行く日があるので、この題名にしました。ぼくがお父さんに何の仕事をしているのか、と聞くと、仕事の計画を立てる、と言ったのでびっくりしました。理由は、お父さんがヘルメットを持って帰ってきているのを何回か見たことがあるからです。ヘルメットは、どこで使っているのかなあと思いました。ぼくはヘルメットを見て初めお父さんは工場の仕事をしているのかなあと思いました。でもお父さんに仕事の紙を見せてもらおうと発電機の機材がありました。これを見てぼくはまたびっくりしました。理由は、ぼくは発電機は風車だけだ、と思っていたからです。ぼくはお父さんがいないと計画を立てられないから、お父さんがいないといけないんだなあと思いました。お父さんがいるから仕事が進められているんだなあと思いました。発電機は電気を作っているので人の役に立つための仕事をしていることが分かりました。お父さんは人に役立っている仕事をしていたのでとてもすごいなあと思いました。ぼくも大人になったら、お父さんみたいにみんなに役立っている仕事につきたいなあと思いました。</p>	

## 【17】

題名	父の仕事
本人氏名	山口 玄喜 (やまぐち げんき)
性別	男
年齢	13
候補者との続柄	子
<p>私は何度か父の仕事に連れて行ってもらった事があります。仕事の手伝いをするのですが、父は私にやることを言うと、自分の仕事に取り掛かります。私の仕事は掃除です。父はまずのびた木を伐り、整え、落ち葉を集めます。微妙な調整があるようで枝の一本も見逃しません。そういう父の姿を私はすごいと思います。手を抜かないというだけでなく、庭がよく見えることにこだわっている姿がです。テレビで色々な職人さんがいるのを見ますが、紛れもなく父もその一人だと思います。</p> <p>また父は私の知らないところで何かの設計をしたり、様々な仕事をしていうようです。詳しくはわからないのですが、油山にある「もーもーランド」という公園にある大きな風車は父が造ったと聞いたことがあります。学校の授業で一度、先生に父の仕事のことを話したことがあります。すると先生は「形に残るいい仕事ね。」と言いました。</p> <p>私はなるほどと思いました。</p> <p>公園にしても風車にしても、造られた物は残って、それを見た誰かは公園で遊び風車を眺めます。庭をきれいにするのだから「きれいな庭」として形と心に残り、その家に住む人はそのきれいな庭の中で生活をするでしょう。</p> <p>父はそうした仕事の中で何かを造ったり掃除をしたり、色々なところで仕事の跡を残し、多くの人に幸せを与えているのだと思います。そういう仕事は素晴らしいと思います。その仕事をやっている父もまた、素晴らしいと思います。</p>	

## 【18】

題名	お父さんの仕事は建設業
本人氏名	小林 貴世輝（こばやし きせき）
性別	男
年齢	14
候補者との続柄	子
<p>僕が素直に思う建設業のイメージは、あまり良いイメージは無く、肉体労働が基本で休みも少なくきつい。土や、泥仕事なので汚い。高所での作業や、重機を使った作業もあり、危険。そして夏の強い日差しの中の作業、冬の氷点下や雪が舞う中での作業。</p> <p>現場が遠ければ、朝も早く、帰りも遅い。</p> <p>やはり、お父さんの仕事である建設業は、決して楽ではありません。そんな仕事でもグチや弱音をいっさいはかずに毎日仕事に「いってきます」と行くお父さんを誇りに思います。</p> <p>そして、お父さんが毎日楽しく働けているのは、建設にしかない仕事に対するやりがいや、喜びがあるんだろうなと思いました。</p> <p>僕はこれを機に、それが何かを考えました。</p> <p>やはり、僕たちが生活していく上で、お父さんが働いている建設という仕事は無くってはならない仕事だと思います。</p> <p>また、建設の仕事は1人では出来ません。</p> <p>各作業の専門の方々が集まり、長い年月をかけて1つの物を造りあげた時の感動や達成感は、きっと僕が想像してもしきれないほど素晴らしいものだと思います。</p> <p>そんな僕は、まだ中学生なので将来何の仕事につくかも今はまだ分かりません。</p> <p>しかし、この作文を書きながら、日々のお父さんの姿を振り返ったり、仕事に対する話を聞いていると、お父さんと同じ建設の道に進むのも良いなと思っています。</p>	

## 【19】

題名	ライフラインを守る
本人氏名	加島 拓斗 (かしま ひろと)
性別	男
年齢	15
候補者との続柄	子
<p>ぼくの父は、祖父の会社に勤務しています。会社までは、そんなに遠くありませんが、家で顔を会わせることはあまりありません。</p> <p>小学校の頃までは、時々遊びに連れていってもらったり、祖母の家へ行ったりもしましたが、中学生になった頃からは、ほとんど家に居ません。</p> <p>毎日帰宅している様ですが、朝早く、夜遅いので、顔を会わせることが無いのです。</p> <p>ぼくにとって、少し都合が良かったりもします。</p> <p>母や祖母から、お父さんの会社や仕事のことを聞かされたりしますが、よく理解できていませんでした。</p> <p>9月のことでした。愛知県は記録的な大雨に襲われたのですが、下水処理場の機械室が水没したことがありました。夜8時頃会社に連絡が入り、仕事を終えて帰ろうとしていたところ、その処理場へ緊急出動することになりました。</p> <p>確かに、トイレの水が流れなくなったら困るだろうなと思いました。</p> <p>お父さんはライフラインを守る仕事をしているという意味が理解できました。お父さんは、建設業に従事していますが、設備機械工というのは、普段目にしないので、想像ができませんでした。今回のことで、お父さんは皆の為にがんばっているんだなということがはっきりと分かりました。</p> <p>そんなお父さんが建設マスターに成るなんて、すごいなと感心しました。</p>	

## 【20】

題名	わたしのおとうさん
本人氏名	川本 美月（かわもと みづき）
性別	女
年齢	15
候補者との続柄	子

私の父は職人さんです。私がまだ幼かったとき、休日しか父と一緒に過ごせる日がなく、寂しかったです。しかし中学生になってから父の仕事の大変さが分かるようになりました。だから今はその休日に父と過ごせる時間を大切にしています。

また、私が今までで一番父のすごさを感じたのは小学生のときです。私が通っていた小学校では竹馬運動会という竹馬にのって色々な競技や技を披露する伝統ある運動会があります。そしてその運動会の時期になると毎年私に竹馬を作ってくれました。父が目の前で作ってくれる竹馬は乗り心地も最高でした。

色々な工具を使ってひとつの竹馬を作っている父はとてもかっこよく見えました。そして最近では私も成長し、大きくなったので父と一緒に屋根に上りました。屋根の上は少しだけ怖かったけれどとても景色がよかったです。それにたまにあたる風が気持ちよかったです。高いところで作業をしている父に対して転落などの事故の不安もあるけれどそれよりも羨ましいという気持ちの方が大きくなりました。

以前、祖母の家の屋根を修理した時に祖母から「ありがとう。」と言われている父を見て人の役に立つということは素晴らしいことだと思いました。

私は父の仕事に誇りを感じます。理由は困っている人の役に立っているからです。例えば家の一部が壊れていたりしたらその部分を修理します。私はそのような仕事をする父を尊敬するとともに目標にしたいと思いました。将来、職人や建設技能者などの仕事に就けなくても父のような人の役に立てる仕事に就きたいと思います。

私は仕事に一生懸命取り組む父の姿が大好きです。

## 【21】

題名	僕のお父さん
本人氏名	久保田 一陽（くぼた かずはる）
性別	男
年齢	16
候補者との続柄	子
<p>僕の父の仕事は、ポンプや発電機などを取り付ける仕事の現場監督です。毎年、秋から次の年の三月の終り頃までとても忙しくなります。土曜日の休日も仕事だし、夜も遅くまで残業で、僕が寝てから帰って来るので、夕飯も一緒に食べられない日が殆んどで、ちょっと淋しいです。でも、仕事が落ち着いてくると父は、ドライブや美味しい物を食べに連れて行ってくれるのでうれしいです。</p> <p>今は少なくなりましたが、僕がまだ小さい時に、台風や大雨や雷の影響で、ポンプの故障などで、緊急呼び出しされる事があって、それが休日だったり、真夜中だったりしても、お客さんの為に、嫌な顔ひとつも見せず、修理に行く父の姿を見て『お父さんて偉いなあ、僕だったらできないのになあ。』と思いました。今、父は僕にいろいろな事を教えてくれます。でも、教えてくれる時は、すごくこわいけど、あの緊急呼び出しで、修理に行く父の姿を思い出すと、僕の為に厳しくしてくれるのだと思います。いつか就職したら父のように人の役に立つ仕事につきたいです。</p>	

## 【22】

題名	私から見たお父さんの仕事
本人氏名	一倉 寿喜 (いちくら としき)
性別	男
年齢	17
候補者との続柄	子
<p>私が小学校の低学年の頃の思い出です。</p> <p>それは、夏休みのとても暑い日曜日でした。</p> <p>父は、朝早く仕事に出かけ、私が起きた頃にはもう姿がありませんでした。せっかくの夏休みの日曜日、海にもどこにも連れて行ってもらえないんだと諦め、テレビをだらだら見ている私に母が「お弁当をお父さんに届けるから一緒に行こう」と言い、暑い中嫌だなと思っている私を車に乗せ、父の仕事をしている工事現場に向かいました。</p> <p>父は、私達の車が見えたのか、大きなコンクリートの柱がそびえ立つあたりに車が差し掛かると電話が鳴り、そこから先の行き方を教わりました。工事現場らしいコンクリートの柱から離れた山の中のくねくね道に入り、上り道を進んでけっこう時間が経った頃、プレハブの事務所のような所が見え、そこに車を止めました。子供の私にもここは、一般の人が入ってはいけない場所ではないのかと思えるような場所でしたが、父の姿の他には誰もいない事を確かめた私は、車から恐る恐る出て父のもとへ走って行きました。</p> <p>そこは地上から何十メートルも高く山と山を繋げる大きな道路橋でした。大きな道路橋を支えていた大きなコンクリートの柱は、さっき私が見た物だったと帰りの車の中で理解したのですが、この時は知る由もなく、父に会えた喜びが大きかった事を覚えています。</p> <p>父は「危ないから車に戻れ」とヘルメットを被せてくれました。私が「なんで水をまいての」と聞くと「この暑さだとコンクリートが早く固まりすぎて割れてしまうから水をまいて冷やしてやんねどダメなんだ」と話してくれました。気がつくやうに、さっきまで蒸し暑かったのに、山からの風が心地よく高い所で吹いているのを感じました。もう一つ父に「なんで一人でやってんの」と聞くと「せっかくの日曜日みんな休みて一べし、こんな仕事は一人で十分だ」と言い、水道もない場所で大きなオレンジ色のタンクから水を出し黙々と仕事をし「今終わるから動くなよ」と言いました。水まきが一段落し、車に向かう私に「立派だべ」「凄いべ」「ここを車が通るんだぞ」と普段あまり話さない父が誇らしげに言いました。</p> <p>車を止めた場所でシートを敷き、三人一緒にお弁当を食べ父はまた現場に戻ったので私は母と家に帰る事にし、山道を抜け道路らしい道路に出て大きなコンクリートの柱をすぎた所で車を止め、車を降りて振り返って上を見たら、とても高い所から父が手を振っていた。とても大きな父がすごく小さく見えた。</p> <p>今思うと、いつも汗臭く、土で汚れて帰って来た父をちょっとカッコイイ男だと思っていました。高校生になった今、母や私達子供を守り一生懸命働いてくれている父に本当に感謝しています。父の前向きな姿勢と情熱を見習い社会に出たいと思います。</p>	

## 【23】

題名	父を見て私は…
本人氏名	杉野 加奈（すぎの かな）
性別	女
年齢	17
候補者との続柄	子
<p>私は仕事をしている父は直接見たことがありません。でも、父がしている仕事は人々に役立つことで、そういう仕事をしている父は自慢の父です。私は父の仕事を知ってから思ったことが2つあります。</p> <p>一つは、仕事は大変だと改めて思いました。休みでも電話がかかって来たり、仕事の準備をしていたりパソコンで作業をしていたりなどと、ゆっくりできる時間が少ないと感じました。でも、その少ない時間で好きなことをして疲れをとってまた仕事を頑張るってすることはすごいなと思いました。また、ずっと仕事をして疲れているはずなのに、家族で旅行に行ったり遊びに連れて行ってくれたりしてくれます。家族のことも大切に思ってくれていると思いました。家族のために仕事を頑張っ</p> <p>てしてくれているとも思いました。</p> <p>もう一つは、私も父と似たような仕事を将来やってみたいと思い始めました。私は父を見て、こういう仕事もあるのだと知って少し興味を持ちました。そしていろいろ調べ、空間・建築・インテリアデザインという方向の仕事をしてみたいと思いました。なぜそう思ったかという、自分の手で何かを作っている人々に喜んでもらいたいと思ったからです。またそれがどんな感覚なのだろうと知りたいからです。父は機械を使って作業したり体を動かすことが好きなのだと私は思います。仕事から帰ってきてもしやな顔をしていないし、わからないところを教えてくれている父は楽しそうに思えます。そのことから、私は父みたいになりたいと思いました。やりたい仕事の内容は父と違うけれど、将来子供にわからないところを教え、「仕事って大変だけど楽しいよ」といえる母親になりたいと思っています。</p> <p>私から見ると父は、尊敬できる父です。仕事は大変なのに文句の一つも聞いたことないし、家族のことも大事にしていると思えます。私も父みたいに将来仕事をしていきたいです。私は父が大好きです。これからもお仕事頑張ってください。</p>	



## 【24】

題名	誇りに思う父親の仕事
本人氏名	鶴岡 春也 (つるおか しゅんや)
性別	男
年齢	17
候補者との続柄	子
<p>僕は、大分私立楊志館高等学校二年生です。父親は、(株)佐藤組エレクトリックでとび職を二十八年勤めています。父親はこの二十八年で数多くの現場で仕事をしてきたと思うとすごい事だと改めて思いました。僕が小さい頃の記憶では、日曜日には父親が仕事をしていた大銀ドームに連れて行ってもらい、まだ小さい頃だったので工事のすごさは分かりませんでした。父親に聞くと僕はいつも大きいクレーンや重機を見ては「すごい、すごい。」と言いながら興奮していたとよく聞かされます。今では、学校から見える三棟同時に建てられているマンションの現場MJRや学校の帰りには大分駅前の開発ビル解体の現場を見ます。土曜日には友達とパークプレイスに行きパークプレイスの現場も見ます。どれも外からでは工事の内容が分かりにくいので父親の会社の社報「きよひと」を見て、父親に仕事の事をよく聞きます。今、この作文を書いていると日々仕事をしている父親は冬の寒さ、夏の暑さの中で仕事をして、病気も全くせずとび職という危険な仕事を毎日して、毎日怪我一つなく帰って来て家族みんな笑顔で晩御飯を食べられる事は、父親が仕事に対しての安全意識が高いからだと思えます。最後に僕も勉強頑張るからお父さんも病気や怪我をしない様に仕事を頑張ってください。</p>	

## 【25】

題名	父の仕事、一日体験
本人氏名	工藤 誠人（くどう まさと）
性別	男
年齢	18
候補者との続柄	子
<p>私の父は、工事現場で働いています。昨年の夏休み、父から、ちょっと手伝いに来ないか？アルバイト代はきちんと払うから、と言う一言で私は父と一緒に初めて作業現場に行きました。現場は個人の邸宅で、父の知り合いの家との事。</p> <p>私は何も分からずただ父が作業をしているのを見ているだけでした。</p> <p>父は、鉄筋を加熱・加圧して接合する圧接と言う作業をしています。</p> <p>作業当日はとても暑く、ただ見ているだけの私でも大粒の汗が出てきました。</p> <p>父は大量の汗をかきながら、もくもくと作業をこなし、私へ指示を出します。</p> <p>私は父が外した機械を運ぶと言う単純な作業でしたが、機械はとても重く・熱く初めての私にはとても大変でした。</p> <p>家に戻り、今日の感想は？と聞かれ、私は何も言うことが出来ませんでした。</p> <p>普段、家にいる父と仕事をしている父はまるで別人、父は仕事の話になると、『圧接はコンクリートの中に埋まって見えなくなるが、これが破断すると建物が壊れる、だから自分の家だと思って仕事をするんだ、』と言います。</p> <p>初めて見た父の仕事でしたが、見えない所を支える仕事は思った以上の重労働でした。</p> <p>たった1日だけの体験でしたが、私にとって貴重な経験になりました。</p> <p>私は4月から理系の大学へ進学し別の分野の方へ進みますが、父にはとても感謝しております。</p> <p>最後に、これからも体に気をつけて、健康第一をお願いします。</p>	

## 【26】

題名	私の父は”ヒーロー”
本人氏名	菅野 小春（すがの こはる）
性別	女
年齢	18
候補者との続柄	子
<p>「私の父の仕事は建設業です。」これは他人に父の職業を聞かれる時に、必ず返す言葉です。</p> <p>“建設業”という人は、大工さんを思い浮かべるでしょう。しかし、私の父はプレハブ建設をしています。</p> <p>幼い頃は私自身でさえも、プレハブということがよくわかりませんでした。もっといえば、大工さんとの違いも理解できていませんでした。</p> <p>中学1年生の夏休み、部活も休みでダラダラしている私を見かね、父が職場へ連れて行ってくれました。危険だからと近くに寄らせてくれはしなかったものの、遠目で見てもわかる程高い鉄骨の上で重い物を運んだり、つなげたりしていました。</p> <p>初めて父の仕事を見て、「暑い中大変そうだな…」と思い、家では見られない頼もしい姿に驚きました。それでもまだ何となく、すごいと思う程度でした。</p> <p>しかし、2011年3月11日に起きた東日本大震災の時に、心から尊敬するようになりました。なぜなら、父は震災直後にもかかわらず、被災して住居を無くした人々の為に仮設住宅を建てに出張していたからです。聞けば、阪神、淡路大震災の時もそうだったようです。</p> <p>困っている人々を次々に助けていく父の姿は、まるでヒーローのように感じ、そんな父を誇らしいと思うようになりました。</p> <p>今、父はベトナム人を雇い育成しています。日本の建設技術を世界へ発信し、より困っている人々の役に立つことを目標に、言葉に苦戦しながらも頑張っています。</p> <p>そして、私達家族はそれを全力でサポートしていきたいと思っています。</p> <p>“建設業”を営んでいる父は、私たち家族にとってヒーローであり、誇らしい職人です。出来る限り支えていきたいです。</p>	